



## 2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 齊藤 政基 (TEL) 03-3472-7890  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期第1四半期の連結業績 (2024年10月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	5,318	0.5	347	4.5	326	10.9	213	8.7
2024年9月期第1四半期	5,291	7.9	333	37.8	294	246.0	196	326.7

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 642百万円( —%) 2024年9月期第1四半期 8百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年9月期第1四半期	円 銭 16.15	円 銭 —
2024年9月期第1四半期	円 銭 14.87	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年9月期第1四半期	百万円 16,122	百万円 7,059	% 43.8
2024年9月期	百万円 14,427	百万円 6,575	% 45.6

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 7,059百万円 2024年9月期 6,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年9月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 22.00
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年9月期(予想)	円 銭 —	円 銭 11.50	円 銭 —	円 銭 11.50	円 銭 23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年9月期の連結業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	2.8	1,150	13.9	1,140	17.8	780	0.8	59.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期1Q	13,410,000株	2024年9月期	13,410,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年9月期1Q	200,227株	2024年9月期	200,227株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年9月期1Q	13,209,773株	2024年9月期1Q	13,209,773株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年10月1日~2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、緩やかな景気回復が続きました。一方で、円安や国際情勢の影響による原材料価格の上昇が物価高を招き、個人消費には足踏みが見られます。継続する物価上昇、雇用問題、ウクライナ・中東情勢の緊迫化による地政学的リスクなど、先行きの不透明感は依然として強い状況です。

当連結会計年度は、近年推進し成果を上げている施策を継続し、さらなる成長を目指します。具体的には、NB(ナショナルブランド)ビジネスではメイクツール、キャラクターコスメ、キッズコスメなど「粧美堂と言えば」の商品カテゴリーに注力し、自社企画商品の総合的な商品力を強化することで、「粧美堂」ブランドの価値向上を図ります。PB(プライベートブランド)ビジネスでは、新たな協力生産拠点の開拓により、コスト削減・品質向上・商品カテゴリーの拡充を進め、重点販売先のニーズに応えることで「モノづくりのパートナー」としてのシェア拡大を推進します。

組織面では、ECチームを商品企画部に移管し、消費者ニーズに迅速に対応できる体制としたことで魅力ある商品の企画・開発を加速し、EC経由の売上拡大と利益率向上を目指します。また、前年度に発足した全社横断のDX推進室を中心に社内DX化を加速し、生産性向上と商品開発力の強化に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比0.5%増の5,318,174千円と増収となり売上総利益額は1,570,451千円で対前年同期比10.1%増となりました。同利益率は円安により売上原価が上昇したものの、高付加価値品への商品展開や当社が最も得意とする提案から商品企画、デザイン、生産、物流と短期間で商品化する当社の高回転型ビジネスモデルが価格の改定に寄与した結果、29.5%と対前年同期比2.5%増とすることができました。販売費及び一般管理費は、商流が増加したことに伴い販売促進費、物流費などが増加し、対前年同期比11.8%増の1,222,471千円となり営業利益は対前年同期比4.5%増の347,979千円、経常利益は対前年同期比10.9%増の326,998千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比8.7%増の213,368千円となりました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

#### ①化粧品

当分類にはメイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上高が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、重点販売先への営業強化により、人気キャラクターをあしらったスキンケア用品、キッズコスメなど化粧品全般が前期に引き続き好調に推移し2,124,147千円(対前年同期比2.0%増)の増収となりました。

#### ②化粧雑貨

当分類にはメイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上高が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、キャラクターをあしらった雑貨類などは好調に推移しましたが全体としては1,734,322千円(対前年同期比0.6%減)と微減となりました。

#### ③コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、前期まで計上していた中国孫会社におけるコンタクトレンズECビジネスの撤退の影響で543,606千円(対前年同期比24.2%減)と大幅減となりました。

#### ④服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、バッグ、ポーチ類が好調に推移し661,203千円(対前年同期比11.9%増)となりました。

#### ⑤その他

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、人気キャラクターをあしらったペット関連商材が引き続き好調に推移した効果もあり254,894千円(対前期比63.9%増)と大幅な増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,695,115千円増加し、16,122,588千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,710,807千円増加し、12,042,642千円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が507,241千円、商品及び製品が469,607千円、為替相場の変動等により為替予約が675,173千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15,691千円減少し、4,079,945千円となりました。

これは主に、投資有価証券が24,657千円増加したことに対し、有形固定資産が29,292千円、のれんが7,202千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,211,374千円増加し、9,063,328千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて448,110千円増加し、5,934,170千円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が410,553千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて763,263千円増加し、3,129,158千円となりました。

これは主に、長期借入金が526,500千円、その他に含まれている繰延税金負債が250,896千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて483,741千円増加し、7,059,259千円となりました。

これは主に、利益剰余金が54,850千円、為替相場の変動等により繰延ヘッジ損益が439,672千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に公表いたしました2025年9月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,982,079	4,004,435
受取手形及び売掛金	3,298,631	3,805,873
有価証券	220,000	220,000
商品及び製品	1,816,241	2,285,848
原材料及び貯蔵品	245,819	305,458
為替予約	404,447	1,079,620
その他	369,497	341,407
貸倒引当金	△4,881	—
流動資産合計	10,331,835	12,042,642
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,029,221	999,928
有形固定資産合計	2,337,115	2,307,822
無形固定資産		
のれん	172,854	165,651
その他	31,774	30,245
無形固定資産合計	204,628	195,896
投資その他の資産		
投資有価証券	1,176,241	1,200,899
その他	378,158	380,715
貸倒引当金	△505	△5,387
投資その他の資産合計	1,553,894	1,576,226
固定資産合計	4,095,637	4,079,945
資産合計	14,427,472	16,122,588
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,876,425	2,286,979
短期借入金	1,300,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,394,000	1,514,000
未払法人税等	64,902	50,325
賞与引当金	151,138	56,037
その他	699,594	826,827
流動負債合計	5,486,059	5,934,170
固定負債		
長期借入金	2,014,500	2,541,000
役員退職慰労引当金	148,630	151,800
資産除去債務	71,838	71,979
その他	130,926	364,378
固定負債合計	2,365,894	3,129,158
負債合計	7,851,954	9,063,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	5,372,114	5,426,965
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	6,100,856	6,155,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,996	96,268
繰延ヘッジ損益	249,761	689,434
為替換算調整勘定	136,904	117,850
その他の包括利益累計額合計	474,662	903,552
純資産合計	6,575,518	7,059,259
負債純資産合計	14,427,472	16,122,588

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)
売上高	5,291,918	5,318,174
売上原価	3,865,533	3,747,723
売上総利益	1,426,385	1,570,451
販売費及び一般管理費	1,093,313	1,222,471
営業利益	333,071	347,979
営業外収益		
受取利息	5,975	4,802
受取配当金	2,318	1,996
受取手数料	2,226	2,340
不動産賃貸収入	2,694	2,514
その他	2,586	1,266
営業外収益合計	15,800	12,920
営業外費用		
支払利息	5,658	7,631
為替差損	44,310	25,351
その他	3,950	919
営業外費用合計	53,920	33,902
経常利益	294,952	326,998
特別利益		
投資有価証券売却益	8,015	—
特別利益合計	8,015	—
特別損失		
投資有価証券売却損	4,869	—
特別損失合計	4,869	—
税金等調整前四半期純利益	298,098	326,998
法人税、住民税及び事業税	23,275	64,834
法人税等調整額	78,298	48,796
法人税等合計	101,574	113,630
四半期純利益	196,524	213,368
非支配株主に帰属する四半期純利益	152	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,372	213,368



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	196,524	213,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,843	8,271
繰延ヘッジ損益	△209,758	439,672
為替換算調整勘定	25,755	△19,054
その他の包括利益合計	△187,845	428,890
四半期包括利益	8,678	642,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,131	642,258
非支配株主に係る四半期包括利益	2,547	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、化粧品、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については概ね同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	47,316千円	51,029千円
のれんの償却額	7,202千円	7,202千円

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2024年12月20日開催の取締役会において、株式会社ピコモンテ・ジャパン（以下「ピコモンテ社」）の株式を取得して子会社化することを決議しました。また、2025年1月10日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社ピコモンテ・ジャパン

事業の内容 化粧品OEM・ODM、化粧品輸入代行、化粧品自社商品販売、化粧品容器販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

ピコモンテ社は2013年9月に化粧品・医薬部外品などの輸入代行業務を行なう企業として設立され、現在は化粧品のOEM製造受託業務を主体に、化粧品輸入代行、化粧品容器の製造受託も手掛けています。

ピコモンテ社とは、当社の化粧品の開発を共に進めることで取引関係を深めてきました。当社のモノづくりをよく把握しており、製造販売業、輸入代行業の豊富な経験とノウハウを持ち合わせているピコモンテ社が当社グループに加わることで、化粧品の企画、調達面の強化、加えて他カテゴリーでのノウハウの拡大により当社商品の付加価値向上に寄与していくものと考えております。

## (3) 企業結合日

2025年1月10日（みなし取得日1月1日）

## (4) 企業結合の法的形式

株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

52%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

## 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	400,000	千円
取得原価		400,000	千円

## 3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等 5,700千円

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## 5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。